

出版部 每月一回機關紙ヲ發刊シ組合員一同ニ頒ツ

法律部 法律ニ關スル顧問トナリ組合員ノ權利ヲ擁護ス

講演部 主義綱領ノ精神ヲ貫徹センカ爲メ時々講演會ヲ開催ス  
技術部 技術顧問ヲ置キ組合員ノ質疑ニ應答ヲナシ技術練磨ノ方法トシテ漸次見學旅行ヲ實行ス

第六條 本組合ニ於テ漸次實行セントスル事業左ノ如シ

一、購買組合ノ完成 一、組合病院ノ設立 一、勞勞會館ノ建設

一、労動保險ノ確立

### 第三章 組合員及組合事務

第七條 本組合員ハ本組合ノ主義ニ共鳴シ及組合規約ヲ遵守シ併セテ入會金五十錢(當分免除)及組合費一ヶ月ニ付金二十錢ヲ釀出スル者ニ限ル

第八條 既納ノ組合費ハ如何ナル事アルトモ一切返戻セス

第九條 本組合員ニシテ不都合ノ行爲アリタル時ハ委員會ノ決議ニ依リ除名スル事アルヘシ

第十條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一、組長 一、委員 一、理事 一、監事

一、代議員 一、幹事長 一、幹事

一、組長ハ代議員會ニ於テ選舉シ本組合ノ事業及事務ヲ統轄ス但シ其任期ヲ三ヶ年ト定メ再選ヲ妨ケス

一、委員ハ組長之ヲ推舉シ本組合ノ事業及事務ヲ處理ス

一、理事ハ學識德望ヲ有スル士ヲ委員會ニ於テ推舉シ本組合ノ事業及事務ヲ善導ス

一、監事ハ本組合ニ功勞アル士ヲ委員會ニ於テ推舉シ理事會ノ相談ニ參與スルモノトス

一、代議員ハ本組合ノ發展方法ヲ協議或ハ立案シ役員監視ノ權ヲ有ス

一、代議員ハ選舉區内ノ人員五十名毎二一名ヲ選出シ最後ノ端數三十名ニ滿チタル時更ニ一名ヲ選出スル事ヲ得

一、代議員ノ任期ヲ一ヶ年ト定ム但シ再選ヲ妨ケス

一、支部ヲ以テ一選舉區ト定ム

一、幹事長ハ本組合員一百名以上ニ一名ヲ代議員會ニ於テ推舉シ所屬組合員ヲ統フ

一、幹事ハ本組合員二十名以上ニ對シ一名ヲ幹事長ニヨリテ推舉シ所管組合員ヲ統フ

第十一條 本組合ハ學識經驗アル名士及勞資兩階級ニ交渉ヲ有シ併セテ勞働問題ニ理解アバ名士ヲ顧問ニ嘱託ス

四

第十二條 本組合ハ毎年一回定期總會ヲ開催シ會計其他重要事項ヲ報告ス  
第十三條 總會ノ決議ハ總テ多數決ニヨル若シ同數ノ場合ハ議長之レヲ決ス

**第十四條** 委員ハ毎年一回(必要ニ應シ隨時)代議員會ヲ召集ス

代議員會議長ハ其都度出席代議員ノ互選ニヨル  
第十五條

附則

本組合創立ノ當初ハ發起人ニ於テ組長ヲ選定シ組合員五千名ニ達シタル時正式ニ之ヲ選舉ス

大阪鐵工組合役員住所氏名

本部、南區天王寺石ヶ辻町五三〇七  
顧問　南區天王寺小宮町  
京都府岡崎町池ノ内八六  
長谷川柳太郎  
神戸正雄  
片岡安

支 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

部西  
苗

西區春日出町四一六  
西區西九條上之町一六九  
西區春日出町四二七

横山 部 橋 次 金 練 大  
山 部 橋 次 金 練 大  
井 林 田 道 又 寛 唯 五  
須 田 藤 田 森 幸 重 兼 之  
橋 田 野 藤 久 太 廣 太 太 太  
山 部 橋 次 金 練 大  
吉 高 阿 阿 高 吉 小 成 川 浮 加 茄 谷 大 蘆

南恩加島支部西區南恩加島町大阪製鐵會社今宅內  
支部長

會計幹事

安治川支部 西區西九條上之町一六九

支部長 西區春日出町四一六

會計幹事 同西九條上ノ町一六九

福島支部 北區天神橋筋六丁目八三

支部長

會計幹事 北區天神橋筋六丁目八三

市岡支部 西區市岡町四十一

會計幹事 市岡町住友職工養成所教授

城東支部 東成郡城東村字鳴野城東製作所

支部長 北區大仁町四七

會計幹事 北區東野田町一丁目四三五

會計幹事 北區東野田町一丁目四三五

大船金造

高橋榮太郎

吉次唯市

谷野森太郎

河田西松

桑島武雄

蘆田久太郎

大野廣宗

長谷止太郎

タムラ

大正八年六月一日創立  
會員數百四十名大正八年八月廿六日調

義德會規則

第一條 本會ヲ義德會ト稱ス

第二條 本會ノ假事務所ノ所在地左ノ如シ

大阪市東區東平野町十丁目五十番地

第三條 本會ハ鍍金就業員ヲ以テ組織ス

第四條 本會ハ鍍金就業員ノ惡弊ヲ矯正シ知識ヲ發達セシムルヲ以テ目的トス

第五條 本會員ハ會名ノ如ク德義ヲ重ンシ各工場ノ規定ヲ遵守シ業務ニ勉勵シ職工ノ模範

タルモノトス

第六條 本會へ加入セントスル者ハ現在ノ工場主ノ氏名及工場所在地加入者ノ氏名、年齢、原

籍地等ヲ記載シ本會事務所へ申込ムモノトス  
入會者ニハ會員章ヲ交付ス

第八條 本會員ハ毎月金五拾錢會費ヲ納付スヘシ但シ外交員並ニ女工徒弟等ハ入會金並ニ

會費ヲ半額トス

第九條 本會員ニシテ左記各項ニ該當スルモノヲ救濟ス

一、工場ニ於テ就業中失傷シタル者

但シ就業ニ堪ヘナル者

二、病氣ノ爲就業出來サル者

三、豫備召集並ニ徵公適合等ニテ入營スル者  
四、家族ニテ死亡又ハ災害等ノ難ニ罹リタル者  
五、其他不事ノ災厄ニ遭遇シタル者

第十條 本會員ニシテ救濟事項併發シタルトキハ其旨會長又ハ幹事長ニ申出ツヘシ  
會長ハ申出ニ依リ嚴密ナル調査ヲナシ正當ノ事由ト認定シタルトキハ役員會ノ決議ヲ經テ相當ノ全員ヲ以テ之ヲ救濟ス

第十一條 本會員ニシテ品行方正業務ニ勉勵シ三ヶ年以上同工場ニ勤續シ他ノ模範タルモノハ表彰狀ニ金員ヲ添ヘテ表彰ス

第十二條 本會員ハ正當ノ事由ナクシテ他工場へ轉勤スルコトヲ得ス

第十三條 本會員ニシテ他工場へ轉勤セントスル者ハ直ニ其旨會長又ハ幹事長ニ申出ツヘシ

幹事ハ申出ニ依リ工場主並ニ本會員双方ノ理由ヲ調査シ留勤轉勤ノ處置ヲトルモノトス

第十四條 本會ハ工場主ニ對シテ不道徳オル自由行動ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 工場主中ニ苛酷ノ行爲ヲナシ又ハ支給スヘキ給料ヲ支拂ハス不道徳オル行爲アルトキハ直ニ本會長ニ申出ツヘシ

第十六條 會長又ハ幹事ハ前條ノ申出アリタルトキハ直ニ工場主へ勸告シ尙應セサルトキ

ハ法定ノ裁決ヲ受クモノトス

第十七條 前條ノ如キ事項併發シ工場主改悛ノ情ナキトキハ本會員ハ全部轉勤スルモノトス

第十八條 本會員ニシテ本會規則ニ違反シタルモノハ除名ス除名者ニハ會費ハ返却セス  
但シ改恢ノ情アリト認ムルトキハ入會ヲ許可ス

第十九條 本會ニ春秋二季ノ總會ヲ開催シ會員一同ノ親睦ヲ計リ並ニ業界ノ智誠ヲ講究スルモノトス

第二十條 本會員一同ニ對シ緊急ナル事項アルドキハ臨時總會ヲ開會ス

第二十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置キ本會ノ發展ヲ計ルモノトス

會長 一 副會長 一 會計主任 一 幹事長 一  
幹事 十

但シ會員三百名以上ニ達シタル時ハ三十名ヲ増ス每ニ幹事一名ヲ増員スル事

第二十二條 本會ノ役員任期ヲ一ヶ年トス但シ前任者ヲ再選スル事ヲ得

第二十三條 本會員ハ各工場中ヨリ一名ヲ以テ同工場ノ會員ヲ代表スル事ヲ得

第二十四條 本會ニ必要事項アルトキハ會長ハ役員會ヲ開催スルモノトス

第二十五條 本會ノ役員ノ職務權限左ノ如シ

11

- 一、 會長ハ本會ヲ統轄スルモノトス
- 二、 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ是レヲ代理ス
- 三、 會計主任ハ會長ノ命ヲ受ケ收入支出其他會計事務ヲ掌ル
- 四、 幹事長ハ會長ノ命ヲ受ケ諸般ノ事務ヲ處理ス
- 五、 幹事ハ左記事項ヲ掌ル

(イ) 會長ヨリ總會ニ提出スル議案ヲ審査シ會長ニ對シ意見ヲ述フル事

（二）會長、監督二職之一事

### (三) 經費決算並ニ業務成績ヲ認定スル事

十六條 本會員ハ毎月ノ休日ニ隨意本會事務所ニ集合ナシ相互ノ意見ヲ交換シ智識ノ

發達ヲ計ルモノトス

義德會役員住所氏名

卷之三

東陽名碑五丁目三五

會計主任西區阿波堀通リ二丁目

卷之三

幹事 南區河原町二佐藤鍍金所

西區九條南通一丁目玉川鍛

同 西區阿波堀通二木鍍金所

而同上。三者皆爲大鏡，  
界而外則牛刀斧之類也。

同  
南區稻荷町一丁目一〇〇二

同 東區東町三丁目三星鍍金所

同 東區谷町五丁目枚田工場

東區谷町五丁目三五赤川鍍金所内

同

塚田吉及岡細脇平佐小柳植吉川渡  
越中田川田阪松久關沼田澤村邊  
一外木善靖次輝  
鶴太捨萬清亮一保丈恭次  
吉郎造治一郎治作助郎一郎吉

三

## 大阪シヨフワ一交友會々則

大正八年二月廿三日創立  
會員數二百五十名大正八年九月四日調

### 第一章 總 則

第一條 本會ハ自動車ノ操從ニ從事スル者及其ノ從業者タラントスル者ノ統一ヲ圖リ相互ノ利益ヲ保護増進スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ慶弔紹介救濟等ハ機宜ニ適スル方法ヲ執ル

第三條 本會ハ其ノ機關トシテ毎月一回以上ノ會報ヲ發刊シ之レヲ會員ニ無償頒布ス

但シ當分雜誌「オートモビル」乞レニ代フ

### 第二章 名稱及本部

第四條 本會ハ大阪シヨフワ一交友會ト稱ス

第五條 本會ハ本部ヲ大阪市ニ置キ必要ニ應ジテ地方ニ支部ヲ設ク

但シ本部ヲ當分大阪市東區備後町二丁目二十番地細貝方ニ置ク

### 第三章 會員及入會退會

第六條 本會ハ自動車運轉士、助手、自動車操從ニ趣味ヲ有スル者ヲ以テ組織ス

但シ本會ノ正會員ハ自動車運轉士、助手ヲ以テ組織ス

本會ノ贊助會員ハ本會ノ趣旨ニ贊助スルモノヲ以テ會員トス

第七條 ノ一 前條ノ有資格者ハ當然入會スルコトヲ得

第七條 ノ二 本會二人會セントスル者ハ本會指定ノ入會申込書ヘ署名シテ差出サレタシ

但シ役員ニテ承認セル者ハ此限りアラズ

第八條 會員ニシテ運轉士ノ資格ヲ喪ヒ又ハ運轉士、助手ニシテ業ヲ廢シタル者ト雖モ除名

處分ノ外ハ尙會員タル資格ヲ保有ス

第九條 退會セントスル者ハ其ノ事由ヲ具シテ本會ノ承認ヲ得ベシ

### 第四章 除名及會員ノ義務

第十條 會員ニシテ破廉恥ノ所業ヲナシ又ハ甚シキ不良ノ行爲アリ其他本會員タル体面ヲ汚辱スル行爲アル者ハ役員會ノ決議ニ依リ除名處分ヲナシ其ノ顛末ヲ會報ニテ公表スルコトアルベシ

第十一條 前條ノ場合ニ於テ本會及本會員ハ損害ノ賠償名譽ニ關スル責任等法律ニ關スル責ニ伍セス

第十二條 退會又ハ除名サレタル者ハ本會々計ニ就テハ何等干渉ノ権利ナキハ勿論且ツ納付セシ入會金及會費ハ返附セス

第十三條 本會々員ノ會費ハ一ヶ月五十錢トス他二人會金壹圓トス本會々員ニハ會員徽章一個ヲ配布ス(但シ徽章代トシテ金五十錢ヲ申受ク)

## 第五章 役 員

第十四條 本會ニ會長一名、理事一名、會計一名、幹事四名、評議員若干名ヲ置ク

第十五條 幹事ハ總會ニ於テ正會員及贊助會員中ヨリ之レヲ選舉ス評議員ハ幹事ノ指名ニ依リテ之レヲ定ム幹事ハ本會一切ノ事務ヲ處理シ評議員ハ本會緊要ノ事項ヲ評議ス其伍期ハ各滿一ヶ年トス

但シ再選スルコトヲ妨ケス

第十六條 本會ハ毎月定期役員會ヲ開ク

但シ緊要議事アル場合ハ臨時役員會ヲ開ク事アルヘシ

第十七條 本會ニ會計、人事、文書、庶務、會務調査ノ諸係ヲ置キ幹事ニ分擔セシム

## 第六章 會員ノ救濟及慶弔

第十八條 本會員ニシテ左記各號ノ一二該當スル者アリタル場合ハ役員會ノ決議ヲ以テ相當ノ救濟ヲナス

但シ本會員ハ相互ニ會員中ノ吉凶ヲ聞知セル際ハ直ニ本會事務所へ通報アリタシ

一、疾病傷痍等ニ依リテ罷業シ救濟ヲ要スベキ者

二、會員若クハ父母妻子ノ死亡ニ因リ救濟ヲ要スベキ者

三、會員ニシテ天災及業務上ノ事故發生シタル場合ニ依リテ救濟ヲ要スベキ者

四、召集等ニ依リテ救濟ヲ要スベキ者(但シ召集ハ戰時召集)

第十九條 會員中失職シタル場合ハ其ノ希望ニ依リ就職周旋ヲナスコト失職一ヶ月以上ニ渡ル時ハ其ノ月ノ會費ハ免除ス

第二十條 會員ニシテ結婚出産及會員若クハ其ノ家族ニシテ死亡シタル場合ハ相當ノ慶弔ヲ爲ス

但シ慶事ハ金二圓、弔事ハ金三圓ヲ贈呈ス

第二十一條 本會々員ニシテ會費三ヶ月以上繳納スル者ハ役員會ノ決議ニ依リ除名スルコトアルベシ除名サレタル者ハ本會々則第十二條ニ該當スルモノト見做ス

## 第七章 資 產 及 開 議

第二十二條 本會ノ收入支出ハ會員ノ入會金及會費有志者ノ寄附其ノ雜收入ヨリナルモノトス

第二十三條 本會積立金ハ信用アル銀行ニ預入ヲナシ特ニ定メタル役員四名連判ノ上拂出ヲナス一切ノ經費ハ歲入金ヨリ支出シ其ノ剩餘金ハ基本金ニ繰入ル、モノトス

第二十四條 本會ハ毎年春秋ノ二季ニ總會ヲ開キ會員ノ慰安ヲ兼ネテ會計ノ事務報告ヲナス

ス

附則

第二十五條 本會則ノ改廢又ハ新ニ會規ノ制定ハ總會又ハ役員會ノ決議ニ依ル

第二十六條 當會員ハ本規約ヲ了諾セルモノト見做ス

大阪シヨフワード交友會役員住所氏名

會長 南區天王寺大道一丁目

幹事 東區備後町一丁目

北區曾根崎上一丁目四八

東區本町二丁目野村内

東區高麗橋二丁目大阪自動車株式會社内

南區日本橋四丁目大阪屋内

西區北堀江五丁目

北區與力町二丁目四〇九

北區堂島中町二丁目

北區老松町三丁目一〇

東區高麗橋二丁目大阪阪自動車株式會社

西區立賣堀六丁目林方

東區北濱一丁目八田株式店

西區新町南通一丁目夷自動車會社

東區北濱三丁目島自動車會社

東區天神橋南諸大林方

北區曾根崎上三丁目日本自動車會社

西區南堀江通六丁目三〇

南區竹屋町二五

石橋辰次郎	細見寺治
朝倉喜平	上田榮次郎
淺賀豊治	田原基造
飯田忠義	藤井繁吉
山源造	胡正吉
山忠義	井良太郎
山忠義	井茂太郎
山忠義	井芳太郎
山忠義	井大治郎
山忠義	井上吉郎
山忠義	上田正治
山忠義	澤井治郎
山忠義	岡田正治
山忠義	健太郎
山忠義	谷幸吉
山忠義	下司吉一
山忠義	藤井義信

大正八年十月廿五日印刷  
大正八年十月三十日發行

## 大阪市役所調査係

大阪市西區江戸堀下通三丁目廿五番地

印 刷 者 中 村 三 一 郎

印 刷 所 三 交 堂 印 刷 所

電話土佐堀二三四一番

終